

## ◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が2例(20歳代男性・40歳代男性)ありました。20歳代男性については平成28年3月にインドに渡航した際に経口感染したものと推定され、下痢・粘血便の症状が見られます。本年の累積報告数は6例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)ありました。症状は発熱・菌血症・咽頭痛で、感染経路は不明です。この感染症の本年の累積報告数は38例となっています。
- ・ インフルエンザの京都市の定点医療機関あたり報告数は、先週の2.94から2.07に減少し、収束に向かっていると思われる。

## ◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は京都市で1.64、全国では2.63となり、それぞれ過去5年平均値を上回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 5例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 99例(肺結核 61例, その他結核 16例, 潜在性結核感染者 22例)うち喀痰塗抹陽性33例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)2例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 38例】
- ・ 五類:梅毒(晩期顕症梅毒)1例【1月以降の累積報告数 5例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

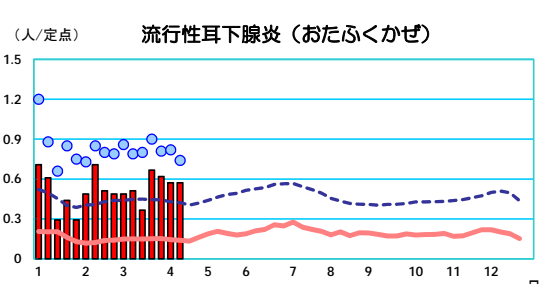
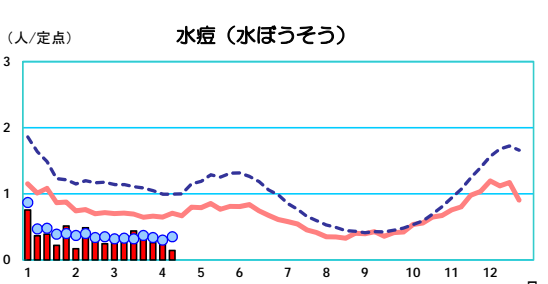
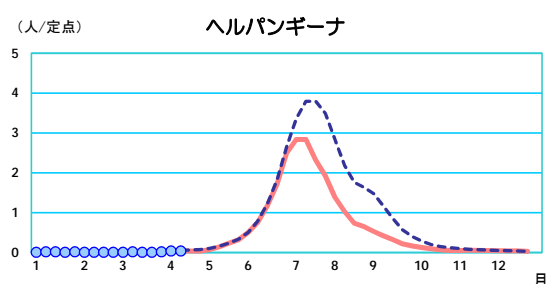
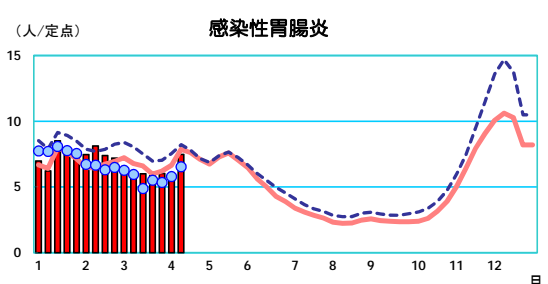
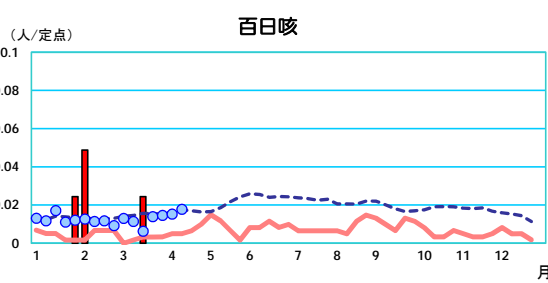
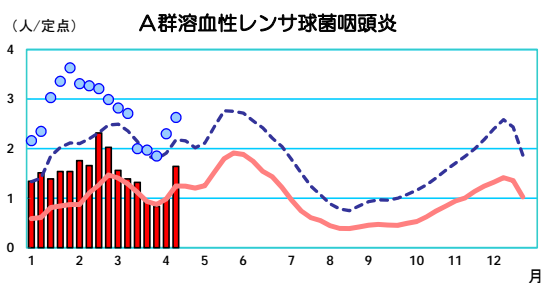
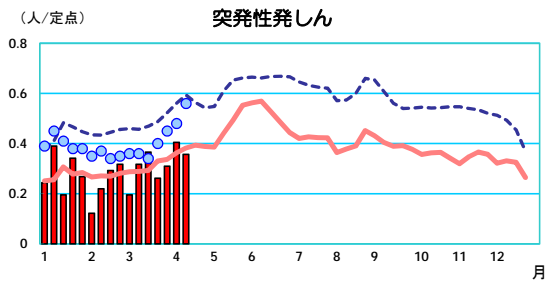
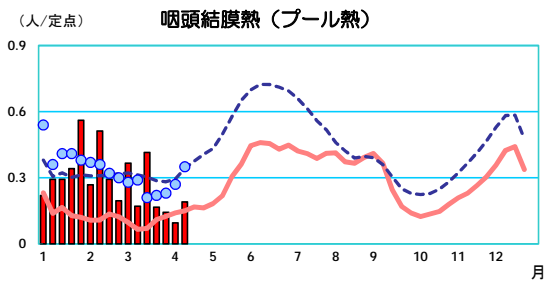
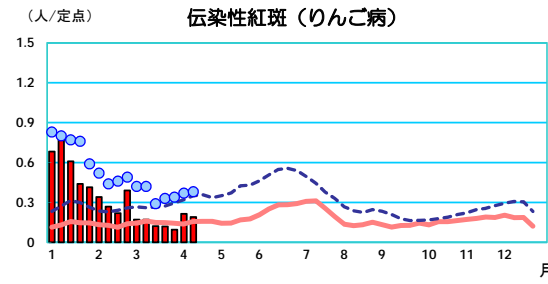
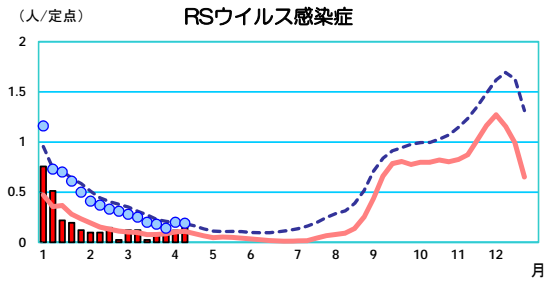
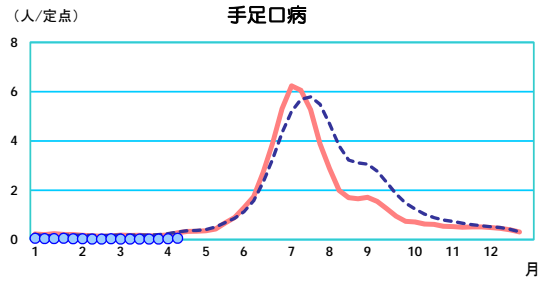
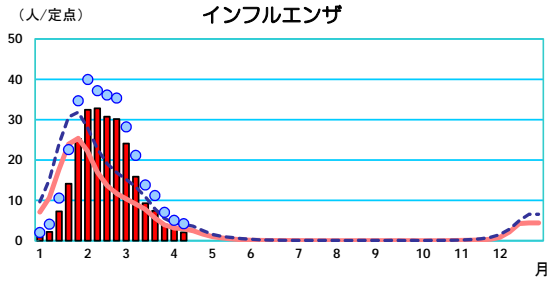
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	2.07	143
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.48	314
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	69
	③ 流行性耳下腺炎	0.57	24
	④ 突発性発しん	0.36	15
	⑤ 咽頭結膜熱	0.19	8
	⑥ 伝染性紅斑	0.19	8
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年4月27日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



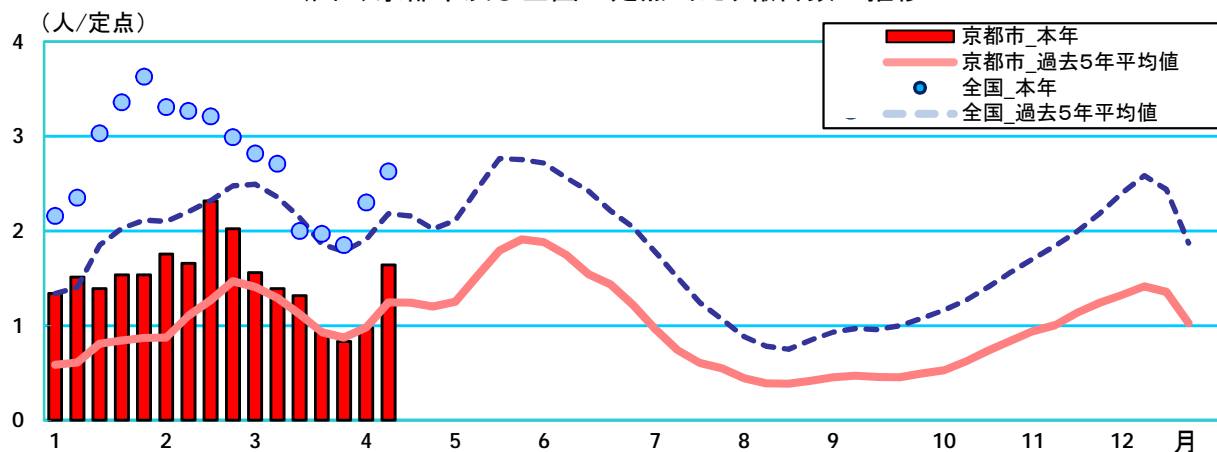
## 第16週(4月18日～4月24日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は京都市で1.64, 全国では2.63となり, それぞれ過去5年平均値を上回る状況が続いています(図1)。都道府県別でみると, 多い順に山形県, 鳥取県, 北海道となっています(図2)。年齢階級別割合では, 例年9歳以下で全報告数の80%前後を占めており, 本年も同様の傾向となっています(図3)。過去5年平均値が増加傾向にあり(図1), 今後さらに増加することが予想されますので, 発生動向に注意が必要です。

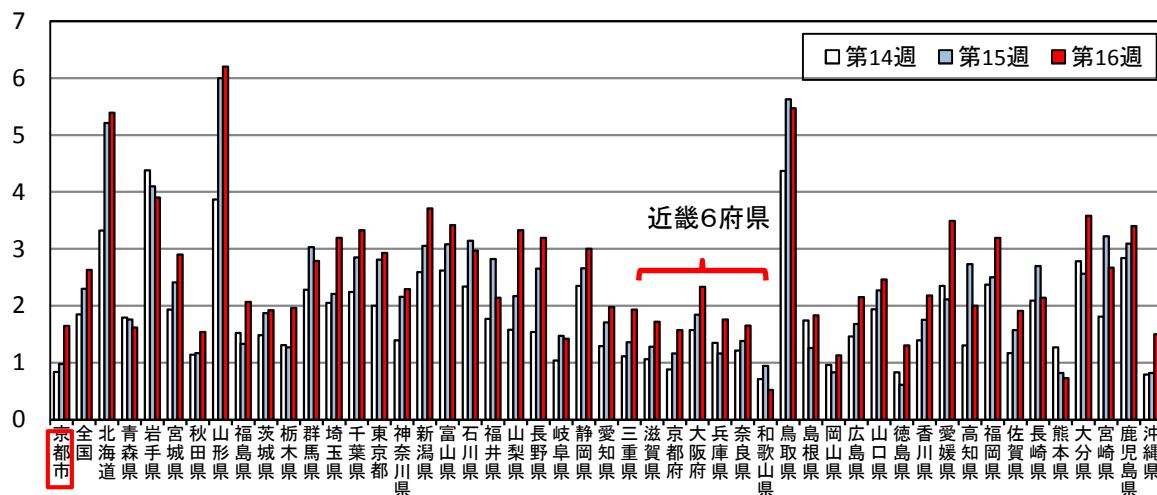
本疾患の潜伏期間は2～5日で, 突然の発熱, 咽頭痛, 全身倦怠感によって発症し, しばしば嘔吐を伴います。皮膚に赤い発疹や舌にいちご状の発赤(いちご舌)が現れることがあります。患者との接触を介して広がるため, 家庭や学童施設等の集団での感染が多くみられます。

予防としては患者との濃厚接触を避け, うがい, 手洗いなどの一般的な予防を行うことが重要です。

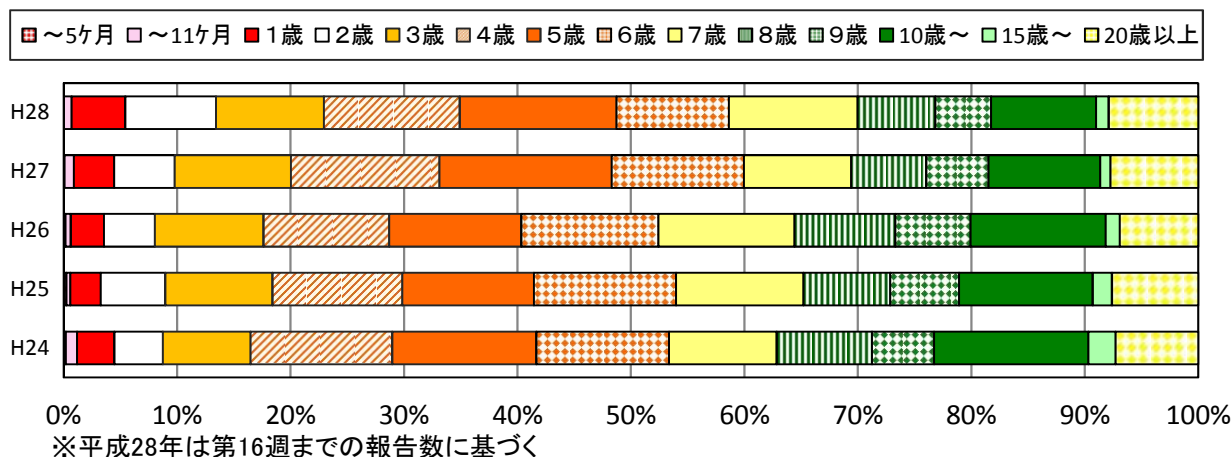
(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3)京都市の年齢階級別割合



※平成28年は第16週までの報告数に基づく

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第16週

疾病,行政区別報告数

平成28年4月18日～平成28年4月24日

データ入手日:平成28年4月27日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	6	-	2	-	11	-	-	-	-	-	-	3	-	-						
上京	4	-	-	5	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	18	-	-	7	61	1	-	3	2	-	-	2	-	-						
中京	8	1	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	8	-	-	-	26	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
山科	10	-	1	9	16	-	-	-	2	-	1	1	-	-						
下京	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	24	-	-	2	31	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	12	3	3	20	51	2	-	1	6	-	-	6	-	2						
伏見	27	3	1	17	61	1	2	2	5	-	2	11	-	-						
西京	24	-	1	7	27	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
京都市計	143	7	8	69	314	6	2	8	15	-	3	24	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.86	-	0.50	-	2.75	-	-	-	-	-	-	0.75	-	-						
上京	0.80	-	-	1.67	4.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	2.57	-	-	1.75	15.25	0.25	-	0.75	0.50	-	-	0.50	-	-						
中京	1.60	0.33	-	0.33	5.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.67	-	-	-	13.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
山科	1.43	-	0.25	2.25	4.00	-	-	-	0.50	-	0.25	0.25	-	-						
下京	0.67	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	4.80	-	-	0.67	10.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	1.50	0.60	0.60	4.00	10.20	0.40	-	0.20	1.20	-	-	1.20	-	2.00						
伏見	2.45	0.43	0.14	2.43	8.71	0.14	0.29	0.29	0.71	-	0.29	1.57	-	-						
西京	3.00	-	0.20	1.40	5.40	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-						
京都市計	2.07	0.17	0.19	1.64	7.48	0.14	0.05	0.19	0.36	-	0.07	0.57	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。



T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第16週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年4月27日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,080	632	511	278	203	143
RSウイルス感染症	5	1	3	5	5	7
咽頭結膜熱	7	17	7	6	4	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	54	39	35	41	69
感染性胃腸炎	240	246	246	253	249	314
水痘	11	18	15	11	12	6
手足口病	1	1	-	-	-	2
伝染性紅斑	7	5	5	4	9	8
突発性発しん	13	15	11	13	17	15
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	1	2	3
流行性耳下腺炎	21	15	28	26	24	24
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	4	3	1	2	2
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,444	1,009	869	633	568	601

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	15.88	9.29	7.41	4.03	2.94	2.07
RSウイルス感染症	0.12	0.02	0.07	0.12	0.12	0.17
咽頭結膜熱	0.17	0.41	0.17	0.14	0.10	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.39	1.32	0.93	0.83	0.98	1.64
感染性胃腸炎	5.85	6.00	5.86	6.02	5.93	7.48
水痘	0.27	0.44	0.36	0.26	0.29	0.14
手足口病	0.02	0.02	-	-	-	0.05
伝染性紅斑	0.17	0.12	0.12	0.10	0.21	0.19
突発性発しん	0.32	0.37	0.26	0.31	0.40	0.36
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.02	0.02	0.05	0.07
流行性耳下腺炎	0.51	0.37	0.67	0.62	0.57	0.57
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.40	0.30	0.10	0.20	0.20
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	24.76	18.79	16.16	12.56	11.78	13.13

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。